

# 流行性角結膜炎と咽頭結膜熱にご注意を！

令和4年6月22日  
富山県感染症情報センター  
(富山県衛生研究所内)  
(0766-56-5431 直通)

## 感染症発生動向速報

(令和4年第24週分・6月13日～6月19日)

### 《インフォメーション》

#### ●流行性角結膜炎(はやり目)・咽頭結膜熱(プール熱)

流行性角結膜炎および咽頭結膜熱は、主にアデノウイルスにより引き起こされる急性感染症です。今年の県内の流行性角結膜炎の報告数は過去5年平均と比べ同程度もしくはそれ以下で推移しています(右上図)。咽頭結膜熱の報告数は21週(5月23日～29日)から急激に増加し、22週(5月30日～6月5日)以降は過去5年平均と同程度で推移しています(右下図)。

流行性角結膜炎は小児に多い疾患ですが、成人を含む幅広い年齢層にみられます。1～2週間の潜伏期間の後に、結膜の浮腫や充血、まぶたの腫れ、目やに、涙が出るといった症状が急に出現します。咽頭結膜熱は小児に多い疾患です。5～7日の潜伏期間の後に、発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭痛、結膜充血といった症状が3～5日間程度持続します。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるため、「プール熱」とも呼ばれます。

アデノウイルスは感染力が強く、患者が触れたものを介して感染する接触感染や、飛沫感染により感染します。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を防ぎましょう。

- ✓ 流行時には石鹸と流水で手を洗う頻度を高める。
- ✓ タオルやハンカチ、点眼薬などの共用は行わない。
- ✓ 器具等を消毒する際には煮沸、塩素消毒等を行う。

### 《全数報告の感染症》

新型インフルエンザ等感染症 新型コロナウイルス感染症 759件(暫定値)

二類感染症 結核 3件(①②共に80歳代、男性 ③90歳代、男性)

四類感染症 レジオネラ症 2件(①第23週診断分:70歳代 ②60歳代 ①②共に男性、肺炎型)

五類感染症 ウイルス性肝炎 2件(①第23週診断分:30歳代、女性、EBV ②40歳代、女性、CMV)

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2件(①第22週診断分:60歳代、男性  
②第23週診断分:80歳代、男性)

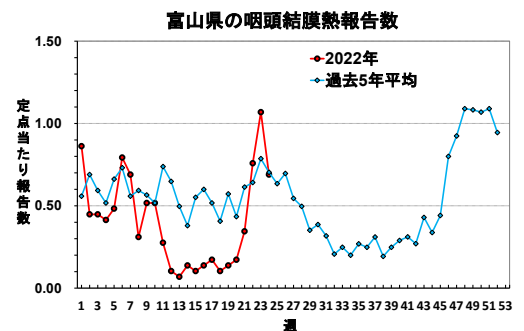
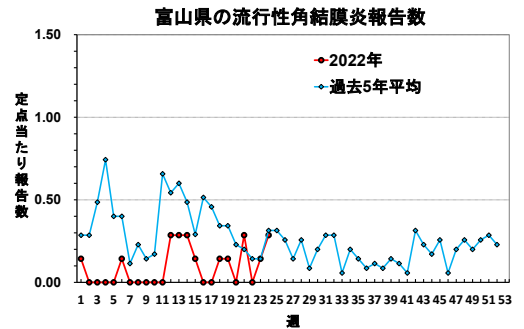
劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件(第23週診断分:70歳代、男性、A群)

梅毒 2件(①第18週診断分 ②第20週診断分 ①②共に40歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期)

### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患

順位	疾病名	定点あたりの数	
		今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	5.86(↓)	6.31
2位	咽頭結膜熱	0.69(↓)	1.07
3位	手足口病	0.66(↓)	0.72
4位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.41(→)	0.41
5位	突発性発しん	0.38(↑)	0.31
6位	流行性角結膜炎	0.29(↑)	0.14



○感染症発生動向調査報告状況（令和4年第24週 令和4年6月13日～令和4年6月19日）

分類	疾患	今週報告分（第24週）							累積報告数（令和4年第1週（1月3日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	その他※2	計	
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	67	52	331	78	231 <sup>※1</sup>		759	3,219	2,728	8,314	3,147	16,771 <sup>※1</sup>	170	34,349	
二類感染症	結核			1	1	1		3	1	2	20	8	19		50	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	4		3		8	
四類感染症	つつが虫病									1					1	
	レジオネラ症			1				1	3		8	2	9		22	
五類感染症	アメーバ赤痢										1		2		3	
	ウイルス性肝炎			1				1			2				2	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										3	2	4		9	
	急性脳炎										2				2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症								3		5		5		13	
	後天性免疫不全症候群												1		1	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症										1		2		3	
	侵襲性肺炎球菌感染症										2		3		5	
	水痘（入院例）												1		1	
	梅毒									2		5	3	18		28
	播種性クリプトコックス症												3		3	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症												1		1	
定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ										1				1	
	RSウイルス感染症								30	18	254	56	285		643	
	咽頭結膜熱	1 0.25	5 1.67	7 0.88		7 0.70		20 0.69	37	32	142	8	64		283	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2 0.25	1 0.25	9 0.90		12 0.41	26	10	94	22	161		313	
	感染性胃腸炎	24 6.00	11 3.67	85 10.63	7 1.75	43 4.30		170 5.86	433	541	1,374	533	1,558		4,439	
	水痘		1 0.33	2 0.25		2 0.20		5 0.17		8	29	1	25		63	
	手足口病		1 0.33	18 2.25				19 0.66	2	17	161	3	56		239	
	伝染性紅斑					2 0.20		2 0.07	1		4	1	3		9	
	突発性発しん	1 0.25	1 0.33	8 1.00		1 0.10		11 0.38	18	11	72	21	57		179	
	ヘルパンギーナ	2 0.50		1 0.13				3 0.10	46	7	24	2	7		86	
	流行性耳下腺炎				1 0.25			1 0.03	1		5	3	1		10	
	流行性角結膜炎	1 1.00		1 0.50				2 0.29	8	2	6				16	
	細菌性髄膜炎										1		1		2	
	マイコプラズマ肺炎										1				1	
	インフルエンザによる入院患者（※3）									1		3	1		5	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 県報道資料の判明日調査中は、公表前日を判明日とした暫定値です。 ※2 その他は県外、居住地非公表分です。  
 ※3 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和3年第36週(9月6日)～の集計です。